

言語と人生を一緒に学んだ交換留学

啓明大学

Hur Giryeon(ホ・ギリョン)

今度の交換留学を来る前、私にとって日本とは、近くて似たような文化を共有して旅行するのに良い国でした。前にも何度か家族、友達と旅行に来たことがあるので、かなり自信を持って来るようになりました。完璧な日本語実力ではないので、少ない困難ぐらいは経験するだろうと心持も持っていました。しかし、日本で暮らすことは旅行とはまったく違う経験でした。短い時間の間ですが、生活しながら良かったことと大変だったことの両方を経験したし、それについて共有したいです。

私は大学生になってから、自分の学校ではないところで勉強するのが初めてでした。母校で専攻がお茶大にはなかったなので、元の専攻と関係ある、グローバル文化学環の専攻授業に参加しました。そして、交換留学の一番の目的である「日本語上達」は十分達成できたと思います。これからも学ぶことが多いですが、交換留学のおかげでお茶大の素敵な先生たちに日本語を学ぶことができ本当に感謝しています。

日本に留学をして一番良かったのは、日本国内旅行が簡単にできることでした。



私は約4ヶ月間、東京の近くの神奈川から関西、愛知県、北海道を旅行することができました。私の人生の目標はたくさん旅行をして世の中を学ぶことです。その中でも日本の文化と言語に興味があるので、日本旅行をすることはとても楽しいことでした。一国の中に様々な歴史と文化を感じることができ、これは忘れられない思い出になりました。

少し大変だったところですが、やはり「外国人」として生きるというのは簡単ではないことでした。日本だけでなくどの国に行っても当てはまる話だと思います。自分が生きてきた慣れについて楽な場所を離れ、家族と友達なしに一人で生き残るのは孤独な戦いでした。加えて、日本の礼儀を学び、そのルールに適応しながら不便だと感じたことも何度かありました。しかし、これはすべて私が得た知識と思い出、新しく付き合った大切な友達に比べれば十分に我慢できる部分でした。



全体的にとっても楽しくて忘れられない経験でした。母国に帰るときっと恋しくなると思います。そして次にまた日本に来る機会があれば今度の交換留学で学んだことのおかげで前なら知らなかった些細な楽しみを見つけることができると思います。田舎で生まれ育った私が、こんなに大きな都会である東京でいつまた暮らししてみようかと思えます。年を取って一派な社会人になっても 23 歳の私の東京生活を思い出しながら頑張って生きて行きます。

私の留学生活を手伝ってくれた皆さんに感謝します。毎月、振り返りシートに心からの応援とフィードバックを残してくださった担当教師の小林先生、困ったことはないか先に聞いてくれて最初の友達になってくれたチューター野村さん、いろいろな留学生プログラムに参加させてくださった国際科の皆さん、安全できれいな生活のために頑張ってくくださった音羽館の管理室の方々、本当にありがとうございました。皆さんがいて楽しく安全な生活ができました。